

育てよう!地域に夢と活力を

第31号
2022年1月

真庭商工会 会報

今号の表紙『とんかつ喜楽』(久世地区)



～今号の内容～

会長年頭挨拶
真庭市長・新庄村長挨拶
新型コロナウイルス感染症関連施策など紹介
落合支所完成
専門家の声
青年部・女性部コーナー
まにわのわ

真庭市久世にお店を構える「とんかつ喜楽」は、市内で唯一のとんかつ専門店です。

昨年創業50年を迎え、現在は3代目代表である柳本和之さん夫婦と、先代の知之さん夫婦の4人が中心となって経営しており、地元の方や観光客など多くの方に愛されている人気店です。

新年のご挨拶



真庭商工会
会長 大月隆行

新年あけましておめでとございます。
皆様にはご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より真庭商工会の事業に対しまして格別のご支援、ご協力を賜っておりますこと、誠に有難く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染が波状的に広まる中、5月からワクチン接種が開始されましたが、変異株であるデルタ株が猛威を振るい、岡山県においても蔓延防止措置や緊急事態宣言が発令される事態となり、感染症と経済活動の両立に大変苦労した厳しい一年でした。そのような状況下、開催の賛否については様々な意見が飛び交いましたが、東京オリンピック・パラリンピックが57年ぶりに開催され、成功裏に終えることができたことは数少ない明るい話題でした。コロナ禍の中で感染

あると改めて感謝いたします。

令和4年、日本は、米国と中国を中心とした世界の動きの中にも有って、政治的にも経済的にも大変困難な事態に直面する中で幕を開けました。一方で、地球温暖化はすさまじい勢いで進んでいるとのCOP26での報告があり、正にその対応は緊急事態となっております。2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、環境と経済の好循環を実現し、持続可能な企業や地域にシフトしなければなりません。コロナ禍の影響で世界のサプライチェーンは大混乱しており、原油や建設材料や半導体などの様々な原材料や製品のコストアップがあらゆるところで始まっております。コロナ感染がどのように景気に影響するか、先行きを想定することが困難な情勢の中で新年を迎えましたが、真庭商工会として、真庭の地元にしつかりと根を下ろし、会員の皆様に寄り添い、伴走型の支援に熱意を持って取組み、地元経済の発展と持続可能な真庭市に貢献できるよう前進して参ります。

対処しつつ、同大会で金メダルを目指して競い合うアスリートの姿は見る者に大きな感動と勇気を与えてくれました。私はパラリンピックに関するルートヴィヒ・グットマン博士の「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ」という言葉が強く印象に残っております。目標に向かって、今あるものを最大限に生かして日々自らを鍛え、困難を乗り越え、花開かせる姿に大きな感動を覚えました。

さて、コロナ禍の中にあつて、伴走型支援や国、県、市などの各種支援金や補助金の窓口として、商工会の果たした役割は大変大きく重大であつたと振り返ります。コロナ感染の第5波が一段落してホッとしたところですが、私たちは、引き続きコロナ感染に万全の備えを行いながら、Withコロナの激変する時代を、共に協力して全力で生き抜いて行かねばなりません。そんな中にあつて、昨年度はまにわ創業塾の受講生が過去最多となり、今年度も創業者が多く新規会員として入会していただいております。5年連続の会員増加を達成できそうなことは大きな喜びであり、商工会会員皆さまのご支援とご協力ご尽力の賜物で



真庭市長
太田 昇

新年あけましておめでとございます。

皆様方におかれましては、希望にあふれる輝かしい新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症以下、「新型コロナウイルス」というのの流行により、世界中の人々の行動が抑制され、度重なる緊急事態宣言の発出により真庭地域でも休業や営業自粛など経済活動に大きな影響があると同時に、我々の日常生活も大きく変化しましたが、その様な状況の中、事業者の皆様には事業の継続にご苦心されながらも、この地域の住民生活を支えていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

令和2年1月に日本で最初の感染者が確認されてから約2年間、新型コロナウイルスは私たちの価値観や行動様式を一変させ、人やモノの移動が世界的に停滞し、経済に深刻な打撃を与えています。

真庭市の経済においても、新型コロナウイルスは多大な影響を及ぼしました。対策としまして、市でも事

新規会員さん紹介 (令和3年5月～12月)

北房地区

大衆食堂(元)竹中忠行
(株)カーショップホリヘ

落合地区

Le Cel(織田拓海)

好田 光
整体院MARU(足立千景)

久世地区

古民家わんだブル(妹尾夕希子)

(有)FORZA

(株)YUNOKA

(株)MAコーポレーション

(株)MKT

さくら食堂(三宅幸弘)

亀井テザイン企画(亀井孝一)

TOODAYS(廣清水佳枝)

(株)まちと学びのイノベーション研究所

勝山地区

ヘアカラー専門店Oo(山本和子)

不工工房(坪井清子)

COM'art(水島綾香)

PLETEX(柴田光一郎)

カフェてあ(栗田雅文)

晴な庭(中村智昭)

StinySartex(駒場リリアン楓)

湯原地区

エフワン(片山弘子)

湯原ふあーむ(針山真司)

石田鮮魚(石田一善)

スマイル不動産(株)

蒜山地区

(株)グリーンズ

KT.D&A(佐利和)

Ci.Wine(小谷彩香)

プラックラパン(同)

丸口グコテージ(川戸忠夫)

新庄地区

(二)社)むらつくり新庄村

水路珈琲(竹内裕治)

業者相談窓口を設置し、真庭商工会と密接に連携して事業者の皆様の不安解消に努めてまいりました。支援策として、昨年度は「真庭おもいやり事業」、「子ども応援券給付事業」、「中小・小規模事業者事業持続支援金事業」、「経済再生事業費補助金」、「小規模設備投資等補助金」、「事業者臨時支援金事業」などを行いました。本年度は、景気悪化に対する消費喚起として「プレミアム付商品券事業」、コロナ禍においての感染防止対策費として、「飲食店等コロナ対策応援事業補助金」、「コロナ感染対策事業者支援事業補助金」を実施し、売上回復に向けた支援として、「小規模設備投資等補助金」、「真庭おもいやり事業」などを実施しました。新型コロナウイルス対策としては、令和2年度から総額で約79.5億円の予算を投じて対策を行いました。今後も、事業者の方が経済停滞を乗り越えられるよう対策を講じてまいります。

昨年7月には、「GREENable HIRUZEN」がオープンするなど、アフターコロナに向けての大きな取り組みもスタートしました。この施設は、本市が推進してきた「SDGs未来都市」の取り組みを象徴するものであり、未来志向型の中山間地域の可能性と地域価値を上げる施設でもあります。オープン以後予想以上のお客様

にご来場いただいております。この施設を核とした蒜山地域から市全体へ波及する地域観光や文化の振興を企図しております。最後に、未来志向で志を高く持ち、課題解決に挑戦し続けることで、コロナ禍を乗り越え、道は必ず拓かれるものと確信しております。今後も引き続き、人や企業を惹きつける「魅力ある真庭」、「未来につながる真庭」として真庭商工会と連携し、広く市民、市内事業者の皆様と一緒に取り組むべく、真庭市の永続的発展を目指したいと考えております。

本市商工業の発展を担う真庭商工会並びに会員皆様の益々のご繁栄とご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



新庄村長
小倉博俊

新年あけましておめでとうございませう。真庭商工会の関係者の皆様方におかれましては、希望に満ちた

輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、本村の商工業をはじめとする真庭地域の経済・産業の振興にご尽力され、本村の村政振興の基本理念であります「安全で安心して暮らせるむらづくり」、「豊かな自然を次世代に引き継ぐむらづくり」、「地域資源を活かした経済活性化のむらづくり」に向けた各種施策に対して深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、令和2年から依然として猛威を奮う新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、世界中の人々がワクチン接種を進めるなど、感染症を防止し打開するために奮闘する1年でもありました。

本村では小さな村の特徴を活かした迅速なワクチンの集団接種を行ったことで、全国平均、県平均を大きく上回る高い接種率となりました。また、新型コロナウイルス感染症の村民の皆様への影響を最小限に抑えるため、飲食店舗の時短営業、酒類の提供中止、休業要請へのご協力など、非常に苦しい状況下ではありましたが、地域の皆様に御協力いただきながら、感染症の流行に全力で対応してまいりました。

そのような中で村内事業者への国・県の支援施策等の情報周知や経営指導、地域経済対策や生活支援等に全力で取り組んでいた

いただきました真庭商工会の皆様におかれましては、深く感謝を申し上げます。新たな年においても村民の皆様のご生命と安全を第一に考え、経済の再生と村民生活を守るためにも、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

このように困難な状況ではあります。本村におきましてはコロナに負けない、そして、ポストコロナの村づくりを進めており、新庄村内の各種課題の解決や地方創生に関する取り組み等について、行政に代わってより機動的かつ柔軟に対応していくことを目的に、令和3年4月に「一般社団法人むらづくり新庄村」を設立しました。宿泊施設「新庄宿 須貝邸」やレンタルスペース「木挽家」の運営のほかにもさまざまな取り組みを行っています。

また、村内の商店等への客数を増やし、村内の経済循環を増大させることを目的に、令和3年3月に地域通貨「もちん」を導入しました。この通貨の特徴は、換金性が「ない」ことです。1もちん11円のように現金同額の通貨としては使用できず、商店等においては「現金では買えない価値のあるプレミアムサービス」を利用することだけに使用することができると、通常の商品の購入も促進されるというしくみになっています。

更に本年は、全国7地方において人口の最も少ない村が年に一度、一堂に会する「小さな村『g7サミット』」を秋季に新庄村で開催する予定です。山梨県丹波山村での第1回以降、福島県檜枝岐村、北海道音威子府村、和歌山県北山村で開催。第5回を令和元年度に本村で行う予定でしたが、感染症拡大により2年連続で延期してまいりました。第5回は「次世代を担う人材の育成を開催テーマ」とし、人口減少に悩む全ての自治体が直面する本質的な課題を取り上げ、住民のアイデアと力をふんだんに取り入れた運営を行っていきたくと考えています。

更には移住定住対策に向けた取り組みや関係交流人口の促進、農林業の成長産業化、観光資源の磨き上げ等、将来を見据えた取り組みを進め、未来に夢と希望が持てる村づくりを力強く目指してまいります。

今後とも真庭商工会の皆様方には一層のご理解、ご協力を賜りますとともに、皆様方には、健康で笑顔に満ちた素晴らしい年とさせていただきます。新年のご挨拶とさせていただきます。